

倉庫業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	19～ 20	倉庫の出入口の階段を荷物（冷凍商品15kgぐらい）を持って下りる際に、階段が凍っていて滑って転倒し、階段を転げ落ち（4段位）、持っていた荷物を足に落としてしまい、右足の腓骨を骨折した。	39	719	2	100 ～ 299
2017	1	18～ 19	倉庫内作業中、被災者が、フォークリフト作業中の倉庫内作業員のそばに近づいた際、フォークリフトと接触し負傷した。	30	222	6	1～ 9
2017	1	14～ 15	物流倉庫内で玉掛け作業の後、高さ約70cm程の建材製品の上から降りようと、しゃがんだ状態で右足を床に着いた際に右足首を捻挫した。	30	611	3	50 ～ 99
2017	1	9～ 10	バースにて荷受後、パレットの商品を確認しようと身を乗り出したところバランスを崩し、プラットホームより落下した。	46	416	1	100 ～ 299
2017	1	8～9	駐車場に車を止めて降車し道路を歩いていた際、置き石が盛り上がり段差がついていたため右足を引っ掛けて倒れ、両手に擦り傷、右わき腹を負傷した。当初は痛みがあったがそのまま勤務し、後日に右肩・右腹・左ひざの打撲と診断された。	57	417	2	500 ～ 999
2017	1	14～ 15	被災者（以下「甲」という）は当センターにおいて衣料品の仕分け、たたみ作業に従事していた。甲は、作業場の通路を同僚と並び歩行中に、甲が同僚の前に出ようと追い越そうとした際、同僚の右足に甲の左足が引っかかり、前方へ転倒した。転倒時、床に右大腿	58	911	2	—

			部を打ちつけ受傷した。				
2017	1	6~7	当営業所構内にて、自社トラックへの積込作業中、荷台の運転手を手伝っていたところ、後部パワーゲート上で別の荷につまずきバランスをくずし、倒れそうになったので飛び降りた際に、左足踵を強打し、骨折した。	65	221	1	—
2017	1	16~17	1F作業場で、荷物の出荷作業時にかご台車に積んである荷が崩れ、かご台車が転倒してしまい右足指等に落下した。	30	362	5	—
2017	1	14~15	1F商品の保管している棚の上から脚立に乗って商品を取り出す時に、足を踏み外して1M位の高さから落下し、左足の甲を負傷した。	63	371	1	1~9
2017	1	9~10	事務所内で業務中、書類ケースに日焼け防止の紙を貼るため、フォークリフトで揚げた高さ140cmのパレット上で、上部をテープ止めし次にしゃがんで下部を止め、立ち上がろうとしたときにバランスを崩して転落し、肩・頭・背中 of 順に落ち、頭部を打撲負傷した。	79	222	1	30~49
2017	1	9~10	ハンドフォークを使用して空パレットを、E・Vに積み込んだ後、残りのパレットを取りに行こうとした。ハンドフォークを後ろ手に持って歩行中に、自分自身の足がもつれ、その拍子に転倒し、左膝部を地面に強打した。周りに障害物もなく、通路幅も確保されていた為、本人の注意不足が原因と思われる。	51	921	2	10~29
2017	1	11~12	被災者は、倉庫内にて作業途中、トイレに行くため、小走りでトイレに向かった。貨物用エレベーターのハンガーラックを避けるためにターンをしたところ、体重が掛かっていた右足をひねって転倒した。	50	417	2	—
2017	1	15~16	請負先において、第2ローリー場タンクローリー受け入れ作業終了後、該当バルブの閉止作業中に強風にあおられ転倒し、配管の間に右足を挟み骨折した。	52	719	2	10~29
			事業所敷地内にて凍結場所で、納品業者のトラックがスリップによ				50

2017	1	14～ 15	り立つ際、車両後輪下にコンパネを敷き脱出作業中に、当社従業員が、車両後方で車両を押し手伝っていた時に、コンパネが従業員に向かって飛んできて太ももにあたった。	64	379	4	～ 99
2017	1	17～ 18	構内で梱包積み商品を積載したBOXを貨物エレベーターに移動させる途中に曲がり角を曲がる際に、方向転換するため向きを変えようとしてBOXを移動し、勢い余って膨らんで曲がってしまい、被災労働者の顔面にBOXが当たる。	37	362	6	10 ～ 29
2017	1	0～1	原材料の搬入投入荷役作業中、作業環境を維持するための集塵機に異常を感知し、調整のため集塵機操作盤において手動で入切を行い自動運転に切り替えたところ、タンク下部の排出口付近で異音が生じたため、異物が下部に落ちたと思い、点検口を開け内部を確認した。すると異物が見えていたので右手で除去したところ、上部から更に異物の塊が落ちてきて、腕が30cm程押し下げられた。その際、タンク下部に設置されている回転物に右手示指と中指の先端が触れ、挫創した。	51	519	6	10 ～ 29
2017	1	14～ 15	倉庫2Fからの階段部分において、2階置場に置いていた6tヒッパラ、約25kgを階段を使って降ろそうとした際、階段の一番上部で足をすべらせ、ヒッパラとともに落下してしまった。転落時に打撲と擦り傷を負うとともに、最下段で、正面にある壁にぶつかりとまるが、ともに落ちてきたヒッパラが重なるような状態になったため、膝と足指を負傷したと思われる。	61	413	1	—
2017	1	8～9	入社後、駐車場から社屋に行く際、路面が凍結していたため、足を滑らせて尻餅をつく状態で転倒し負傷した。	53	715	2	50 ～ 99
2017	1	11～ 12	得意先でプレス機械の作業をしていた所、プレス機械に右手の小指、薬指、中指の3本を挟まれ負傷した。状況を確認したところ、通常は事故防止の為、安全キーがつけられているが、当プレス機械には付けられていなかった。	53	154	7	10 ～ 29

2017	1	11~12	出張作業中に荷物が落下してきて、左肩と肘の損傷をした。	19	611	4	50 ~ 99
2017	2	9~10	1階から3階へ荷物をベルトコンベアーで搬送している際に荷物が引っ掛かりそれを取り除こうとしてベルトコンベアーに乗った際、隙間に左足を巻き込まれ骨折した。	53	224	7	100 ~ 299
2017	2	9~10	ミッション置場に於いて、出荷準備中の製品を台車に乗せようとした際、型枠となる治具が錆びていた為、台車と製品が貼りついていたので、力を込めて引っ張ったところ、腰部を痛め負傷した。	33	611	19	10 ~ 29
2017	2	12~13	帳票類を作業台にまとめスチールラックに置いてある仕分け用のかごに収める作業を繰り返し行っていた。その際にスチールラックへ帳票類を置き、作業台に振り返った時に右手小指を作業台のエッジに勢いよく接触してしまった。痛みが強かったので就業終了後に病院に行き右手小指第三関節剥離骨折と診断された。	50	419	3	100 ~ 299
2017	2	10~11	倉庫屋外に折りたたんで保管しておいたロールボックスパレット（W780×L600×H1,700mm）4台をまとめて倉庫内に入れようと両手で後ろ向きに引き始めたところ、パレットのバランスが崩れて左手前方向へ倒れそのまま支えきれずに、パレットと共に転倒し左手首がパレットの下敷きになってしまったものである。（原因）折りたたんで不安定な状態にあるパレットをL字型の角を中心に引いたこと。複数台まとめて引いたこと。	53	379	5	50 ~ 99
2017	2	5~6	事務所内倉庫において作業中に後方より乗務員が商品台車搬入の際に被災者背面部分に衝突した。	34	362	6	1~ 9
2017	2	11~12	入荷口において、カゴ車（奥行約50cm・幅約60cm・高さ約150cm・重量約50kg）を屋外へ移動させようとした時、カゴ車のタイヤが溝（深さ約1cm）にはまり転倒し、コンクリート床とカゴ車との間に右足を挟み負傷した。	67	416	2	50 ~ 99
			2人で冷蔵庫内で荷役作業を終えた後、庫外に出ようと1人が先に荷				

2017	2	15~16	<p>捌き場に出る扉を開けた際に、それに続いて庫内から出ようと走って出入り口に近付いたところで、足を滑らせて転倒し腰部を強打した。転倒後、自立して庫外に出たが、庫外・荷捌き場で椅子に腰掛けたところで痛みと痺れから動けなくなった為、救急搬送を要請し、搬送された。救急病院で、痛み止め処置後、帰宅が許された。後日、再受診し、腰椎横突起2ヶ所骨折、1ヵ月間安静と診断された。</p>	32	416	2	10 ~ 29
2017	3	11~12	<p>当社倉庫内において、搬送用ベルトコンベアで搬送作業中、コンベアベルトとフレームの間に挟まっていた異物の除去を行う際、誤って機械の電源を切らず行ったため、コンベアに手を巻き込まれ、右腕を骨折した。</p>	48	224	7	1~ 9
2017	3	15~16	<p>会社工場内で石膏ボードを流していたとき、ボードを流すタイミングが早すぎたため、引き戻そうとしたときに手を挟まれ、ローラーに巻き込まれた。</p>	75	163	7	
2017	3	11~12	<p>3階の事務所で軽い封筒を持って立ち上がり、移動していたところ、右側に置かれていたダンボールに躓き転倒し、右膝を強打した。</p>	60	417	2	100 ~ 299
2017	3	11~12	<p>被災者は、作業エリアに移動する際に後追してきた作業中のリーチ式フォークリフトを避けようと、作業が終わるまで待っていた。作業中のフォークリフトが被災者に気づき作業を止め車両を停止させたが、被災者は作業の邪魔になると思い、後方を確認せずに一步後ろへ下がってしまった。そのとき後方で作業していた別のリーチ式フォークリフトの車輪に左足甲を踏まれた。</p>	55	222	7	100 ~ 299
2017	3	15~16	<p>会社の前でトラックの積み下ろしをしているとき、風が吹いていたため荷物を支えていたが、その荷物が落下して腰を直撃して下敷きになった。</p>	27	611	4	30 ~ 49
			<p>トラックの荷台より荷物をおろそうとしたところ、背中に激痛が発</p>				10

2017	3	9~10	生した。	22	611	19	~ 29
2017	3	17~18	商品在庫棚重量ラック3段目（高さ約1m70cm）のパレットに保管された商品を確認するため、脚立（高さ60cm）に乗り確認するが奥の商品が見つらく。とっさに3段目パレットによじ登り確認作業をした。確認後、重量ラック3段目から降りるためパレットに手をかけながら脚立に足をかけた際に負傷した。	51	371	1	~ 299
2017	3	16~17	リサイクル品のドラム洗濯機を回収中、お客様宅の玄関先で負傷した。洗濯機を持ち上げていた為、下側が見えず段差に気づかず、右足を捻り、右足踝を骨折した。ドラム洗濯機は重量約60~70kgで、2人で搬送していた。	37	417	3	~ 99
2017	3	12~13	重量ラック3段目の商品の在庫調査中、奥に積まれている商品把握で安全ベルトを一時的に外して作業した。数量をカウントし戻る際、右足をパレットについて左足を出した時、踏み外してしまい、そのまま左足からくずれの様に下に落下した。	57	222	1	~ 299
2017	3	21~22	トラックバースに積まれていた荷物を数えることに集中し、足元を確認しておらず、荷物の方向を向いたまま後退した時に、トラックベースから足を踏み外し約1.5メートル下に転落し、トラックバースの角に左脇腹があたり骨折した。	57	418	1	~ 299
2017	4	11~ 12	倉庫内で作業中、ラック下段に保管されている梱包ラップを箱から取り出す際に、ラップを持って引き上げた右手がラックの上部鉄枠にぶつかり、ラップ芯と鉄枠に右手小指を挟みこんで負傷した。	37	379	7	~ 29
2017	4	13~ 14	バッテリー式のパレットフォーク充電場所にて、作業終了後に本機を充電するため、パレットフォークから本人が降車した状態でバックにて本機を移動したとき、ハンドル操作を誤り、右足に本機が接触した。	37	222	6	~ 299
		14~	2階発送作業フロアにて、化粧品等商品のピッキング作業中、商品を積むパレットが密集しており足を取られて転倒し、左脇下・右膝を				100

2017	4	15	打ちつける。転倒時、左脇下に商品の一部が突き刺さるような形になり、腫れ・痛みがひかない状況が続いている。	56	379	2	～ 299
2017	4	20～ 21	派遣先の野菜更生生庫内で品出し作業中、他就業者の操作するハンドフォークと床置きパレット間に左足を挟まれ、歩行困難となった。	51	362	7	～ 299
2017	4	16～ 17	倉庫内で1個5kg～7kgの家電製品をダンボールに投入していた際、ダンボール投入の際に手首をひねるような動きもあり、休憩もはさみながらではあったが、同様の作業が続き、手首に炎症がみられた。	37	611	19	50 ～ 99
2017	4	10～ 11	検品エリアで作業中、納品があったため小走りで移動していた際に、作業レーンのコーナーガードにブルゾンの袖が引っ掛かり、仰け反った態勢となり、右足を折り畳み、左足は伸ばした状態でしりもちをつき、右足に全体重がかかってしまった。安全靴は着用していたがアキレス腱ガードのついた固定されているタイプであった。	40	224	2	100 ～ 299
2017	4	18～ 19	退勤後、センターのプラットフォーム（トラックが荷物の積み下ろしをおこなう場所）から踏み台へと降りようとして、プラットフォームで足を滑らせて地面へと転落し、左手首を負傷する。	48	416	2	100 ～ 299
2017	4	15～ 16	1階荷捌き場にて、フォークリフトでバック走行しながら、空のサポート付パレットを置こうとした際、被災者の後ろ側を通り、右斜め後方でいったん停止し、右に旋回しながら前進しようとした際、旋回をするだけの十分な距離を取らず接触しそうになったので慌ててブレーキを踏もうとしたら、誤ってアクセルを踏み、パレットが被災者の両ふくらはぎに当たった。	42	222	6	1～ 9
2017	4	9～ 10	トラックから降りるときに地面にマツボ（角材）が置いてあることを確認しながらまたごうとしたが、マツボ（角材）に触れてバランスを崩して後向きにひっくりかえって倒れた。	64	522	3	10 ～ 29
			自動倉庫の投入口で作業中、フォークリフトで搬送されてきたパ				100

2017	4	11～ 12	レットが、レール上のパレットを前方へ押した為、レール内に左足を 入れて作業をしていた被災者の足にパレットが接触して負傷し た。	34	379	7	～ 299
2017	4	20～ 21	倉庫内で商品搜索のための移動中に、出荷用パレットに躓き転倒し た。発生時に作業帳票を見ながら移動していた事で、歩行導線から 外れた。足元の確認不足から、作業箇所に設置していたパレットに 気付けなかった。	51	417	2	50 ～ 99
2017	5	15～ 16	倉庫内で、フォークリフト2台でパレット積み冷凍助子の整形作業 中、停車中のフォークリフトの右側部に別のフォークリフトの前部 が接触し、停車中のリフトの運転席の側部に座っていた被災者が右 足甲部分を挟まれて陥没骨折した。リフトが停車しているのを動き 出すと思い込み、前進したために事故が起きた。	20	222	7	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	建材・足場シート・サイディング役物・仕上げ材・お引渡し品のい ずれかのピッキング作業を行っていた際に負傷したと思われる。 （詳しい原因は不明）当日に痛みを感じたが、作業を継続し定 時まで作業を行い帰宅した後、変形性腰椎症、腰部末梢神経障害と 診断される。その後もしばらく痛みはあったが仕事を続けていたと ころ、痛みが増して休業となった。	61	611	19	1～ 9
2017	5	14～ 15	倉庫内にて製品の出荷作業中、リーチリフトの方向を変えようと旋 回させた際、ステップから出ていた右足が後方にあった固定棚と接 触し打撲を負った。	20	222	3	100 ～ 299
2017	5	19～ 20	コンソール台車（2段積み）を移動させる為、手で引っ張って移動さ せようとしたところ、台車が進まず、台車下のローラーを点検する 為しゃがみこんで台車を揺らした際2段目の台車がずれて、台車が落 下し左肩・左腰背部に当たり、尻もちをついて倒れ打撲負傷した。	21	362	4	30 ～ 49
2017	5	12～ 13	荷物をパレットへ積み替え作業をしていた時にフォークリフトに足 を挟まれた。	62	222	7	50 ～ 99

2017	5	21～ 22	施設内にて、1階24番シュートで飲料の積み込みをしていた時、右腕に引きつるような痛みを感じ受傷した。	32	611	19	～ 499	300
2017	5	18～ 19	7F物流棟作業現場において、歩く方向を転換した際に躓いて転倒した。転倒する際にラックの棚板に右頬をぶつけ、さらに床に左膝を打ちつけてしまった。	40	417	2	～ 99	50
2017	5	14～ 15	日用品、雑貨を店舗ごとに仕分ける場所で、殺虫スプレーの仕分けを行っていた。殺虫スプレーの入ったダンボールを開梱する際、ダンボールの糊付けが強く、無理矢理手で開け、右手首を痛めた。	21	921	19	～ 299	100
2017	5	14～ 15	立ててある氷を寝かせるために氷挟みを使用して倒そうとしたところ、持ち手が上限に引っ掛かったので外そうと手を離れたとき、左足の甲上部に氷（高さ1m強、重量135kg）が落ちてきた。安全靴を着用していたが、鉄板で覆われていない足の甲の部分を負傷した。	52	529	6	～ 29	10
2017	5	13～ 14	派遣先構内作業場において、派遣社員の作業員が荷をトラック（コンテナ）に積み込んだ後、その荷台（1m位の高さ）から飛び下りた際にバランスを崩してアスファルトの地面に落下した。その際に右足を地面に打ちつけて靭帯を損傷し、左手を捻挫（軽傷）した。	34	221	1	1～ 9	1
2017	5	11～ 12	当社の仮設機械センターにおいて、ブラケット足場台と単台約4.2kgを2個重ねて、所定の場所に連続して置く作業中、誤って手首を捻り、両手を捻挫した。	49	521	19	～ 29	10
2017	5	23～ 24	倉庫1階にて商品をピッキング中に、生樽7Lを手を滑らせて右足の先の部分に落としてしまう。安全靴の着用を義務付けしているにもかかわらず、着用していなかった為、右足親指を骨折した。	52		1	～ 49	30
2017	5	11～ 12	フォークリフトでパレットに積載した貨物を後方から荷台に積み込み時、前方にいた作業員に気が付かず、前進したためパレットに足首を押し挟まれ損傷した。	57	379	7	～ 299	100
			冷凍庫内奥の通路にて、ピッキング作業中、うつ伏せに転倒した。					

2017	6	12～ 13	(転倒理由不明) 社員が異音に気付き発見した。意識がない状態だったが、すぐに取り戻し台車にて庫外へ搬送した。その後、当社担当が到着し、自分の車で休んでいた本人と話す。目立った外傷や痛みなどが無いとの事で自宅に送り届ける。翌日自宅に伺うと、本人は自室にて意識不明の状態であった。119番通報後、救急車で病院へ搬送した。意識が戻らないまま、後日容体が急変し死亡に至る。	57	416	2	30 ～ 49
2017	6	10～ 11	3階エレベーター付近で、フォークリフトに乗車し、冷凍倉庫から荷物の出庫作業をしている際、冷凍倉庫出口からエレベーターまで(3m程)フォークリフトでバックで移動中、フォークリフトが止まらなくなり(アクセルの操作ミスか、タイヤに箱がつき滑った)、エレベーターの壁が近づいていたため、フォークリフトから降りようとしたが間に合わず、フォークリフトの後部と、エレベーターの壁に体を縦に(右腰リフト側、左腰エレベーター側)挟まれ、右大腿筋挫傷と恥骨骨折をした。	49	222	6	1～ 9
2017	6	17～ 18	同僚乗務員の積み込みの手伝いをしている最中に、被災乗務員が、荷締めの確認で隣に接車していたA号車に移り、荷締めの状態を確認して再びB号車に戻ろうとした際に、誤って右足を踏み外してしまい、B号車のアオリに右肋骨を強打してしまった。1日様子を見たが痛みは改善されず、翌日、肋骨にヒビが入っており、全治14日間と診断された。	33	221	3	50 ～ 99
2017	6	13～ 14	リーチ式フォークリフトにて作業中、バック走行の際、柱に接触しそうになり、左足をペダルより離し、柱側にのぼした際、柱とフォークリフトに挟んだものである。	18	222	7	100 ～ 299
2017	6	15～ 16	被災者が退社後、就業場所から被災者自宅まで移動しようとしたところ、就業場所敷地内駐輪場付近にて自転車に乗った状態で転倒し、右足を痛める。数日後、被災者より連絡があり、「数日経っても痛みがおさまらないため病院にて診察を受けたところ、右足の甲	36	362	2	1～ 9

			の骨折と診断された」との報告を受けた。				
2017	6	10～ 11	梱包作業場にて、製品が入った段ボールを作業域を近くする為に移動させようとしたところ、2箱載っていた段ボールを1箱と勘違いし、段ボールの上部を押したことにより、上段の段ボールが不安定となり、バランスを崩して左手を段ボールについた際、左手を捻りそのまま転倒した。	72	611	19	100 ～ 299
2017	6	15～ 16	4Fでフォークリフト荷役作業中、降車する時に足を捻ってしまい、バランスを崩し、咄嗟に左手を出して手の平で着地した。その際、左足首捻挫、右手首打撲をした。	47	222	1	500 ～ 999
2017	6	15～ 16	第一センターから第二センターに向かう連絡通路でつまずいて転倒した。その際、左手で支えようとしたが支えきれずに、左鎖骨を強打した。	43	416	2	30 ～ 49
2017	6	0～1	自動倉庫出庫口において、出庫されてきた冷凍貨物をピッキングする際に、冷凍貨物を置く木製のパレットにフォークの爪が引っ掛かり、手動により外そうとしたところ、パレットとパレットの間に右手中指を挟み骨折した。	46	379	7	10 ～ 29
2017	6	16～ 17	商品仕分エリア内において作業中、商品を搭載したカゴ車（重量約200kg）を引いて移動していたところ、他の人を避けるため横に移動した際、カゴ車が停止せず右足の上に乗り上げ、負傷した。	37	362	7	100 ～ 299
2017	6	0～1	構内作業場にて、ゴミ置場から戻る途中のスロープで、別のスタッフが押していた台車が後ろからぶつかり、左足のかかと付近を負傷した。	47	362	6	30 ～ 49
2017	6	19～ 20	倉庫内で商品の棚戻し作業中、高さ2m、横幅1m、奥行30cmの商品ラックを2人1組で移動させていた。本人は後ろ向きに左後方を確認しながら移動させていたが、右側にあった柱に気付かず、右手小指の付け根を商品ラックと柱で挟んでしまった。	33	362	7	50 ～ 99
			作業場で商品の梱包作業中、オリコン（折り畳みコンテナ）を広げ				100

2017	6	15～ 16	て振り返った際、バランスを崩し左手をオリコン内について転倒した。作業を継続しようとしたが、違和感があり、次第に力が入らなくなっていた。	52	921	2	～ 299
2017	6	9～ 10	弊社2階倉庫作業場において、被災者は出荷商品の積み込みで使用する折り畳みカゴ台車（組み立て時：縦76cm×横125cm×高さ200cm）を出荷レーンの最終着地点に設置していた。カゴ台車をL字型に重ねた状態で、3台まとめて移動していたところ、台車のバランスが崩れ、3台とも横転した。その際、倒れてきた台車の上部に左足首を挟まれた。	27	362	5	50 ～ 99
2017	6	8～9	派遣先の2Fの作業場で、作業に使う台車の移動中、1台ずつ運ぶところを3台同時に運ぼうとし、引っ張った際に台車が倒れて左足首の上に落下し、骨にひびが入ってしまった。（全治1ヶ月、要松葉杖）	27	362	4	30 ～ 49
2017	6	8～9	作業の邪魔になるため、不法投棄されたガラス製の水槽をフォークリフトを使用して移動させた際、水槽が割れたため一度置き、手作業でゴミ箱を入れようとして、誤ってガラス破片に触れてしまい、その破片で左手首を2箇所（約3cmと約5cm）を切る負傷した。	44	529	8	30 ～ 49
2017	6	15～ 16	会社内の加工作業場で、箔押し機（ホットスタンプ）にて箔押し作業中、手を滑らせ、左手人差し指と親指を機械に挟まれ骨折し、火傷を負った。	36	169	7	10 ～ 29
2017	7	10～11	弊社冷蔵庫（第一冷蔵）の中で、フォークリフトを運転して製品の入庫作業を行っていたところ、リフトにてパレットを持ち上げた時、リフトのチェーンローラーからゴムホースが外れた。ゴムホースをローラーに取り付け、直そうとした時にゴムホースと一緒に右手（親指を除く4本指）がローラーに挟まり、負傷した。	19	222	7	10 ～ 29
2017	7	10～11	当社作業所に於いて海上コンテナから荷物の取り出し作業中、階段状に積荷されている最上部にあるダンボール箱（50cm×60×90約18kg）に入った商品（ハンガー）を取りに行き、商品を持って床に降りようとしたところ、積荷されていた最下部の商品が移動してい	38	611	1	1～ 9

			たのに気付かず、足を踏み外し転倒する。その際、左手を床につき、捻ってしまい負傷したものの。				
2017	7	16~17	物流センター倉庫内にてパレット上の商品のラップ巻きをしていたところフォークリフトによる返品商品搬出のためバックしてきたフォークリフトに左足をひかれてしまった。	58	222	7	100 ~ 299
2017	7	18~19	製品倉庫内でフォークリフトを使用して製品の積み込み運搬作業中、保管ラック上段への積み込み後、フォークリフトのマストを下げ忘れ、上死点まで上昇した状態でバック走行をしていた時、倉庫天井の鴨居にマストが衝突。その衝撃でフォークリフトが前方に倒れ、その反動でオペレーターがバック走行していた方向に投げ出され、倉庫床面に背中と左肘を強打した。	55	222	1	1~ 9
2017	7	10~11	被災者は本社倉庫にて商品の荷受け作業をしていた所、ぶら下げ形のトロリーがレーンにしっかりとかかっておらず落下させてしまい、顔面にぶつけてしまった。右目下あたりを打ち、症状がひどくなかったためにそのまま作業を続けていたが、後日腫れがひどくなった。	39	391	4	30 ~ 49
2017	7	11~12	冷凍倉庫内の出入り口付近にて貨物の積み付け作業中に床面に付着していた氷に足を滑らせて右足を捻った。	18	417	2	10 ~ 29
2017	7	12~13	休憩から現場に戻る際に納品ドライバーの荷物を避ける際に足がもつれて転び、怪我をしてしまった。（左膝下切り傷）	53	611	2	50 ~ 99
2017	7	14~15	商品在庫の保管場所での出庫作業をしていた。7段積みの最上段からダンボールを下ろそうとした時に誤って頭の上に落とした。	44	611	6	300 ~ 499
2017	7	11~12	上記の物流センター内で、フォークリフト荷捌きを行っている時、他の作業者のフォークリフトが通るため、フォークリフトを停車し、他のフォークリフトが通過するのを待っていた所他のフォーク	60	222	6	10 ~

			リフトの後部が自身のフォークリフトの後部に接触しその際の衝撃により負傷。				29
2017	7	18~19	2段式の脚立に登り、5段ラック最上段の小箱商品を持ち降りる際、1段目の踏みざんから足を踏み外し転落。転倒した際に右手を負傷した。	51	371	1	100 ~ 299
2017	7	11~12	派遣先事業所構内で、入荷した荷物を積んだカゴ台車を1階から4階へ搬送する作業をしていた。荷物用エレベーターへカゴ台車4台を搬入した時に、左手前のカゴ台車が斜めに向いていたので、位置を修正しようとして、右足を前に・左足を後ろにしてカゴ台車を手前に引いたところ、右足甲をカゴ台車の車輪で轢いてしまい、右足第3趾を負傷した。	33	362	7	100 ~ 299
2017	7	15~16	4.2?の角タンクの側面に20Dを取り付ける作業中、踏み台が近くに無かったので、タンクの2段目のへりに足を乗せ、片腕を19φの丸鋼タラップに掛けながら、ボルトを取り付けていた。その際に足を滑らせてしまい、掛けていた腕にテコの原理で力がかかり受傷した。	25	418	7	1~ 9
2017	7	14~15	冷凍貨物を検数し、カゴ車に積替えてカゴ車を手で引き、1F庫内に仮置きする作業を行っていた。カゴ車を引いて冷蔵庫内へ向かい、曲がる際にカゴ車の車輪が右足に乗り上がり、転倒し、右膝内側を振じりながら床に強打した。	54	362	2	10 ~ 29
2017	7	17~18	出荷配送の準備のため、20ケースのワインが積まれたカゴ台車をプラットフォームの停止線まで移動させ、被災者がホーム下に降りて地上からホーム上のカゴ台車を、更にホーム際ぎりぎりまで移動させていたところ、カゴ台車の車輪が脱輪して落下し、負傷した。	49	362	4	100 ~ 299
2017	7	16~17	当社倉庫内において、リーチリフトにて製品パレットを置いたあと、次の作業のため移動しているとき、通路が狭かったため、誤って鉄の柱に左足踵辺りが当たってしまい、打撲した。その後2~3日経ってから負傷部辺りが膿んできたため、病院の指示により入院と	67	222	3	10 ~ 29

			なった。				
2017	7	14～ 15	1階構内にてピッキングの作業中、事務所に走って戻ろうとしたとき、地面に設置されている車止めのアングルに躓き転倒し、その際にアングルに膝を強打した。	25	417	2	30 ～ 49
2017	7	21～ 22	センター1階において、消灯された区画の電気を点けようと、エレベーター前より電源ボックスへ移動する際、移動途中に置いていたプラスチックパレットに足を引っ掛け、顔面を強打し、下唇貫通創の怪我を負った。	52	417	2	50 ～ 99
2017	7	23～ 24	駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に衝突し、受傷した（自損事故）。	25	231	17	50 ～ 99
2017	7	23～ 24	駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に衝突し、受傷した（自損事故）。	30	231	17	50 ～ 99
2017	7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	25	231	17	50 ～ 99
2017	7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	34	231	17	50 ～ 99
2017	7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	25	231	17	50 ～ 99
2017	7	16～ 17	作業終了後、現場詰所から自転車で事務所に戻る途中、自転車のチェーンが外れ、外れたチェーンが自転車のタイヤに食い込んだためロック状態となり、つんのめる形で右顔面部から転倒した。	20	362	17	10 ～ 29
		14～	現場への業務連絡のため、事務所出入口から室外へ出た。数歩歩い				1～

2017	7	15	たところ、人工芝ロールカーペット下に隠れていた蒸気パイプを上から踏み、右足首を捻挫した。	51	417	19	9
2017	7	18~ 19	弊社社屋内倉庫にて、ピッカーを使用してピッキング作業中、ネステナーの3段目の商品を取ろうとした際に、当該ネステナーの前に別のピッカーが止めてあったので取ることができなかった。そのまま移動して商品を取ろうとし、安全帯を外してピッカーからネステナーに移ろうとした際に、足を踏み外してバランスを崩し、床面（H2.8m）に落下した。その際に左大腿部・頸椎・右手親指を負傷した。	64	418	1	50 ~ 99
2017	7	13~ 14	カーゴをトラックに積載する際に、カーゴタイヤが歪んでいることに気づき、ナットを締める作業を実施した。その際、体を捻じった体勢で作業を行ったので、作業後に違和感を感じるようになり、体調が改善されないため、病院にて診察を受けたものである。	43	364	19	10 ~ 29
2017	7	14~ 15	段ボール仕分け作業で、オリコンの4段目を積むため、10kgのオリコンケースを持ち上げたとき、腰痛が発生した。	19	611	19	100 ~ 299
2017	9	10~ 11	定型外区域で、積込作業をしているときに、農業用マルチシート（1.2mの束、重さ14kg）を、カゴ車の奥に積み込もうとして、両手に抱えて持ち上げたところ、背中に痛みが生じて屈む姿勢ができなくなった。	36	611	19	50 ~ 99
2017	9	10~ 11	サイロ下部ホッパー内を2名で上部（指揮者）と下部（被災者）に分かれ、清掃作業を行っていた。被災者はサイロ下部ホッパー内で、燻蒸用配管を背に両足をホッパー内壁に置き、バランスを保ちながら付着している飼料のかき出し清掃作業を行っていた。作業指揮者は被災者上部のカバーの上に足場板を掛け同様の清掃作業を行っていた。飼料崩落があり、被災者は何らかの原因でホッパー下部へ落下した。指揮者が下に降りて確認した所、被災者はすり鉢状のホッパー下部に下半身が滑落していた、そのためホッパー下部を塞ぐ形	24	391	1	10 ~ 29

			となり、飼料が下に流れない状態となっていた為、飼料が積もり埋もれた。				
2017	9	10～ 11	被災者は箱出し作業中に移動するため体の向きを変えた際、足首を捻り捻挫した。	44	611	19	100 ～ 299
2017	9	13～ 14	ホームセンター商品を扱う物流倉庫内で、ネスに入った商品を移動しようとした際、原則ネスを動かす場合は、2段までと規定があるが、3段重ねたまま移動してしまったため、バランスが悪く、一番上のネスが落ちてきてしまい、右首から右肩にかけて負傷した。	62	222	4	50 ～ 99
2017	9	9～ 10	センター内の荷物受入エリアにおいて、ガス式フォークリフトのガスボンベが空になった為、新しいボンベと交換する作業において、ボンベをガス式フォークリフトに搭載する際に、腰に痛みを感じ、歩行時にも痛みが継続して、普通に歩行することが困難となった。	44	612	19	100 ～ 299
2017	9	19～ 20	作業を行う仕分場に行く為にトラックの発着場を通ろうとした際、飛び出して来たトラックの左前方部が、当該人の右肩に接触し負傷した。	53	221	6	300 ～ 499
2017	9	8～9	自社作業場で、鉄のアングルを天井クレーンで運搬する作業をしている時に、鉄のアングルを降ろして玉掛していたワイヤー2本のうち1本をフックから外し、もう1本をフックから外す途中でフックが上げられてしまい、ワイヤーとフックに右手中指が挟まれて負傷した。	47	211	7	10 ～ 29
2017	9	17～ 18	荷姿転換場で自動車部品のビニールを剥ぐ作業をしており、作業完了後の詰め替えた箱を腰をかがめた位置から頭部程度の位置まで持ち上げた際に、痛みを感じた。	44	611	19	50 ～ 99
2017	9	17～ 18	トラック荷台上で、左サイドをよじ登りルーフスイッチを操作しようとした時、片手がすべり足を踏みはずし、約170cmの高さから地面に落下、左側骨盤付近を強打した。	38	221	1	100 ～ 299

2017	10	10～ 11	2段式ハンガーラックのロケーション表示の取り付け作業をする際、脚立がなかったためキャスター付きの椅子を代わりに使用し、バランスを崩して左半身から倒れ負傷。	59	371	1	～ 999	500
2017	10	6～7	2階で業務を終え退勤後帰宅に3階から1階に下りる途中1階の階段で足を踏み外し右足首を捻る。	45	413	1	～ 299	100
2017	10	10～ 11	当社構内において、搬入されて来たドラム缶に不具合を見つけ、ドラム缶（60×90cm）の上で不具合の補正をし、降りる際にバランスを崩し落下、腰を打撲した。股関節にヒビが入った。	69	611	1	～ 29	10
2017	10	9～ 10	補充作業中に、腰部保護ベルトを付けていないことに気づき、ロッカー室へ取りに戻る途中の廊下で、急いで小走りになっていたために足がもつれて転倒し、右膝を床で強打する。	64	416	2	～ 299	100
2017	10	9～ 10	倉庫内にて商品の補充作業中、4段式ラックの3段目に商品を格納すべきところを、誤って高さ860mmの4段目に格納した。その際、手を滑らせ商品が落下し被災者の胸に当たった。	64	611	4	～ 99	50
2017	10	16～ 17	工場新館1階の庫内で荷物にシールを貼る作業中、パレットの鉄枠によじ登ったところ、足を踏み外して落下し、左足踵を負傷した。	21	418	1	～ 49	30
2017	10	1～2	冷凍自動倉庫内でラック上の商品の位置を手直しし、足場を移動しようとした際、足を滑らせ約50cmの高さから落下し、左下腿前面を架台にぶつけ挫創した。	25	391	1	～ 99	50
2017	10	15～ 16	入庫製品が到着、クレーン作業補助として作業を開始。5号倉庫北側奥まで移動し、西側へ4m程移動。クレーン作業者と反対の西側に立ち、幅2m位の場所に製品を降ろそうとしたところ、製品が西に揺れ西側に保管している製品に当たると思い手で止めた。反動が大きく製品と製品に手が挟まり負傷した。	54	211	6	～ 29	10
			資材や空オリコンを置くための台車を準備していた際に梱包台の下					300

2017	10	9～ 10	に置いていた板台車に気づかず、右足を台車の上に載せてしまいバランスを崩してしまった。その際に左足を捻り転倒して足首を負傷した。	47	362	19	～ 499
2017	10	12～ 13	構内、カゴ什器置き場からカゴ台車を移動しようとした時、背後を通りかかった業者が引いていたハンドリフトの爪に足を引っ掛け、後向きに転倒した。その際左手をコンクリートの床に叩き付け、手首を骨折した。	66	362	2	50 ～ 99
2017	11	17～ 18	積込作業中、商品の乗っているパレットに足をぶつけて右足を痛めてしまった。	58	416	2	50 ～ 99
2017	11	12～ 13	貨物を検品のため、3mの高所から転落した。	67	418	1	50 ～ 99
2017	11	10～ 11	機械に材料を補充している時、おてふきを一枚ずつ機械でエア吸引し、自動でレーンに置いているが、おてふきの角が曲がるなどしていると吸引が出来ず、取れないことがあるため、機械吸引部分が上下する間におてふきを取ろうと、咄嗟に手を出してしまい、レバーに指を挟み負傷した。	48	222	3	300 ～ 499
2017	11	14～ 15	集金のため、バイクで走行中、センターラインのない道路の対向車線側を走っていた車が停車したところに、不注意で衝突して転倒し、右足を負傷した。	69	611	2	100 ～ 299
2017	11	15～ 16	出荷作業中にフォークリフトの左側車輪前部に乗っかり、商品を取り、パレットに積もうとしたところ足を滑らせ、地面に足をついた時に挫いてしまった。	47	222	1	1～ 9
2017	11	9～ 10	部品センター内の受け入れエリアにおいて、15kg程度の製品をパレットからパレットへ移す際に持ち上げた時、腰に痛みを感じ、時間の経過と共に痛みが増してきた。	45	611	19	～ 299

2017	11	8~9	パレットから商品（マットレス）を降ろし押していく際、踏み込むため右足へ力を入れたところ足が滑りふくらはぎに痛みを感じた。	45	611	19	~	99
2017	11	14~15	荷物（一斗缶約15kg）を抱え運んでいた際、5号倉庫前の20cm位の段差を踏み外し転倒し打撲した。頸椎間板ヘルニア、頸部捻挫、右肩挫傷と診断された。	35	417	2	~	29
2017	12	16~17	落雪による米検査室の窓ガラス破損と飛散防止のため、コンパネを窓枠に取り付ける作業の際、粉穀粉碎機室内にあったコンパネを両手で持ち室外へ出たところ、屋根から落下してできた氷の雪山に足をとられ、転倒し左膝を強打した。	35	719	2	~	29
2017	12	10~11	被災者は、当社倉庫前にて、トラックより降ろした荷物を自分の足元付近に置いていた。その荷物が強風により崩れそうになったので押さえようと屈んだところ、強風にあおられたトラック後部扉が急に開いてきて、扉の金具の部分が被災者の頭部に当たり、ケガをした。	45	371	1	—	
2017	12	16~17	販促品梱包作業場で、梱包作業に使用する、緩衝材入りの箱（縦51cm×横51cm×高さ72cm）を手を持ってラインの中に運ぼうとしたところ、ラインとの間の目測を誤り、函の左前とラインが接触し、はずみで後方に転倒した。転倒したときに右手を地面について負傷したものである。	50	611	2	~	299
2017	12	18~19	3F保管場でピッキング作業をしている時に、棚の2段目を取ろうとしてバランスをくずし、脚立から転落し、腰を強打し骨折してしまった。	60	371	1	~	29
2017	12	15~16	1期棟2Fから1Fにいたる階段の掃除を行っているときに、後ろ向きで踊り場をモップで拭いていて、後方に段差があることに気付かず足を踏み外し、階段から転げ落ちて手を負傷した。	59	413	1	~	499
2017	12	14~15	物流センター内のラベル貼付場にあるローラーコンベアの横で、商品入りバケットを送り出す作業中、不揃いとなったバケットを手直	20	362	6	~	100

			しした際に、後から送られてきたバケツととの間に右腕が挟まったり、そのまま引っ張られ捻挫した。					299
2017	12	10~11	コンテナ荷卸し作業が終了し、被災者が貨物を格納する際、先に格納したパレット積みの貨物が荷崩れしているのを見かけたため、脚立に上りネステナーへ移って荷崩れを直そうとしたが失敗し、足を踏み外して右脇腹を打ち転倒した。	42	371	2		50 ~ 99
2017	12	16~17	倉庫にて、出荷パレットが置かれた状態で高床式（高さ1m）の接車バースから足を踏み外し、ホーム下に右足から落下し、右膝の関節2本を骨折した。	53	418	1		10 ~ 29
2017	12	16~17	冷蔵倉庫内で荷物出庫準備作業をしている際に、3段目にあるパレットを抱えたとき、荷物が隣の荷物に接触していたため、その荷物を直そうとした。その際、リフトのヘッドガード側から登ろうとして、途中でバランスを崩し転落した。	20	222	1		10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html